

後学期授業の実施について

後学期授業（9月23日開始）については、先日ご連絡しましたように、①講義科目は原則、遠隔授業（主にオンデマンド型）にて実施し、また、学内の感染防止策を徹底したうえで、②実験・実習・演習等の一部科目を対面授業にて実施（遠隔授業との併用あり）します。

つきましては、後学期授業の実施にあたって、実施概要、スケジュール及び留意事項等をお知らせしますので、必ず内容を確認のうえ、後学期授業に備えてください。

1. 後学期授業の実施にあたって

前学期はすべての授業が遠隔授業となり、キャンパスへの入構も大きく制限されました。意欲に燃えた学生が教員の「知の成果」を受け取り発展させる講義、実験・実習・演習だけではなく、教職員、先輩や後輩、同級生と語り合い、様々な活動を展開するキャンパスライフ、さらには地域や現場の方々との交流から得られる学びも大きいものがあるだけに、苦しい状況でした。新型コロナウイルスは、本学だけでなく世界の大学の誰もが想定していなかったキャンパス全面閉鎖や、はじめての遠隔授業の実施を強いただけでなく、大学における学びとは何かという大きな問いをもたらしたともいえます。私たち教職員も、東京農業大学ならではの実学主義に基づく教育について、改めて深く考える機会となりました。また、受講における困難や不満、孤立感、単位取得・進路・就職を含む将来への不安などが心に渦巻く中、前学期の勉学に励んだ学生の皆さんには敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の蔓延はまだ安心できる状況にありませんが、その感染防止対策については具体的な知見が積みあがってきたところです。そのため本学では、引き続き新型コロナウイルス感染症防止を第一とし、かつ、本学構成員の学びや研究への意欲に応え、本学の教育・研究の理念「実学主義」を具現化するために、後学期からはキャンパスへの入構制限を緩和し、一部を対面授業とすることとしました。

本学では、キャンパス入構や教育研究活動に関する「行動指針」に示すように感染防止対策を策定し、後学期に向けての準備を進めています。構内では、マスクの原則着用、手指消毒、教室での座席指定、会話を避けた飲食など様々な行動制限を行い、また、実験室、研究室、付属施設などそれぞれの環境に応じた行動制限もあることから、まだ平常のキャンパスライフには程遠いものです。しかし、状況をしっかりと見定めながら、健康を守り、より質の高い学びを実現できる方向に進んでいけることを願っており、後学期授業の開始はその第一歩といえます。なお、キャンパスに入構し対面授業を受講できない事情のある学生については、不利益がないよう措置をとることを付記します。

学生の皆さんにも、別添「安全なキャンパス生活のために」などを参照し、自らを、そして友人や家族、さらにはキャンパスや社会を守るために感染防止のための適切な行動をとることをお願いします。

（教学担当副学長 夏秋啓子）

2. 後学期授業の実施方針について

- ・講義科目は、「遠隔授業（主にオンデマンド型）」で実施します。
- ・学部1年生に対しては、講義科目の一部を「対面授業」で実施します。
- ・実験・実習・演習科目は、一部を「対面授業」とし「遠隔授業」を併用して実施します。

3. 対面授業・遠隔授業の実施科目について

■対面授業（遠隔授業との併用）で実施する科目

- ・1年生～4年生の実験・実習・演習科目の一部
- ・1年生の講義科目の一部（学部によっては2年生もあり）
- ・対面授業は、各学科・学年ごとに週1～2日実施します。
- ・上記のほか、集中授業（前学期授業の補習等を含む）、情報基礎（専用ソフトを使用するコマのみ）、教職・学術情報課程の実験・実習科目の一部を対面授業で実施します。

※対面授業で実施する科目は、学生ポータルにてお知らせします。

■遠隔授業のみで実施する科目

- ・前記の対面授業で実施する科目以外の授業科目

4. 授業時間割の変更について

- ・対面授業の実施等に伴い、授業時間割を一部変更します。変更後の授業時間割（後学期特別時間割）は、学生ポータルにてお知らせします。
- ・後学期も遠隔授業等の実施に伴い、シラバスに変更が生じていますので、学生ポータルから必ず確認してください。

5. 後学期授業等スケジュールについて

- ・各キャンパスの「後学期授業等スケジュール」を確認してください。

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、スケジュールは変更になる場合があります。
変更する場合は、学生ポータル等でお知らせします。

6. 対面授業の受講について

※キャンパスへの入構にあたっては、別添の「安全なキャンパス生活のために」及び「後学期からの学生生活について」を必ず確認してください。

■基本的な受講手順

- ▽ 入構から退構まで原則として、マスクまたはフェースシールドを着用してください。
- ▽ 教室の入口で手指をアルコール消毒してください。
- ▽ 1台の机に一人で着席してください（教室の広さ等により異なる場合があります）。

- ▽ 机には座席番号を貼付しています。キャンパスごとに運用ルールがありますので、これに従ってください。
- ▽ 授業開始前を含め構内では、人と人の接触に注意し、会話は控えてください。
- ▽ 教室の換気にご協力ください。
- ▽ 授業時間は80分（通常90分）とし、授業終了後10分間教室を換気します。
不足する授業時間は、遠隔授業による補講や研究課題等により補完します。
- ▽ 実験・実習室での授業、農場等学外での授業については、上記に準ずるとともに、担当教員の指示に従ってください。
- ▽ 構内では、感染防止に自ら努めるとともに、教職員による感染防止にかかわる指示に従ってください。
- ▽ 会食によるクラスターの発生が危惧されます。構内での飲食のみならず、学外でも、感染防止に努めてください。

※対面授業で実施する「講義科目」を他学科聴講、再履修、上級学年が正規履修する場合は、
教室の3密対策のため、対面授業ではなく遠隔授業とします。

7. 遠隔授業の受講について

- ・遠隔授業の受講方法等については、基本的に前学期と同様の手順となります。
- ・一部変更点がありますので、詳細は、学生ポータルにてお知らせします。

■遠隔授業の学習について

- ・遠隔授業のうち、オンデマンド型（教材配信、録画配信）の授業は、Web上で配信された教材や動画を学生の皆さんが空いている時間に何度でも自身のペースで学習と復習ができるというメリットがあります。
- ・一方で、対面授業やリアルタイムの遠隔授業のように決まった時間に受講しなくてもよい
ため、深夜の学習や、1週間分の教材をまとめて学習することもできてしまいます。後学
期から対面授業との併用となりますので、遠隔授業で学ぶにあたっては、①指示された方
法にて出席登録を行い、②学生の皆さんの自律的な学修参加と、③対面授業と同様な規則
正しい学修習慣を確立するよう心がけてください。

■遠隔授業の教材等の取り扱い

- ・教員が作成したすべての教材や動画は、特定の受講者のみが限定的に利用することを前提
として配信するものです。そのため、これらを第三者に再配布したり、SNSで共有したり、
新たに何らかのサイトなどにアップロードすることは一切認めていません。教員の肖像権
や教材の著作権にかかわる違法な行為は絶対にしないようにしてください。

8. 対面授業に出席できない場合の取り扱い

- ・学内の感染防止対策を徹底し対面授業を実施しますが、感染防止ほかの事情によりキャン
パスへの入構及び対面授業への出席を希望しない場合には、遠隔授業（リアルタイム配信、
録画配信、教材配信のいずれか）の提供により、不利益のないよう対応します。

- ・対面授業に出席できない場合の届出方法等は、学生ポータルにてお知らせします。

9. 学内施設設備の使用について

- ・遠隔授業における教材配信のダウンロードや録画配信の視聴ができるよう、一部教室の開放等のサポートを行います。詳細はキャンパスによって異なりますので、各キャンパスからの個別連絡に従ってください。

10. 履修登録手続きについて

- ・履修登録期間において、後学期授業科目の追加・削除・変更ができます。
- ・履修登録に係る留意事項等は、学生ポータルにてお知らせします。

※手続き漏れが無いよう注意してください。

11. その他

- ・教科書販売について

後学期授業で使用する教科書販売は、キャンパスごとに販売方法等が異なります。
詳細は、学生ポータルにてお知らせします。

- ・問い合わせ先

各種問い合わせ先：<https://www.nodai.ac.jp/contact/>

※学生の皆さんがEメールにて問い合わせる場合は、
必ず大学のメールアドレス（学籍番号@nodai.ac.jp）を使用し、
学科・学年・学籍番号・氏名を明記してください。

以上